



☆11月 山下会計事務所 強化月間 (今月特に意識したいコト) ☆

## 「視野を広げましょう」

チーム内に業務内容で困っている人がいないか、業務量は足りているか(過大か)、小さなゴミが落ちていないか、トイレが汚れていないか、など、普段より視野を広げることにより他人の満足度、お客様の満足度の向上につながります。



## データで見る税理士業界

少子高齢化が進む日本ですが、税理士業界においても高齢化が顕著となっています。

日本税理士会連合会の第6回税理士実態調査の結果(2014年1月1日現在)は以下の通りでした。

- ・20歳代：0.6% ・30歳代：10.3% ・40歳代：17.1% ・50歳代：17.8%
- ・60歳代：30.1% ・70歳代：13.3% ・80歳代：10.4%

上記のように、税理士の半数以上、およそ54%が60歳代以上であり、さらに10年経過している現状は60%近くになっているかもしれません。

一方で税理士登録者数(日本税理士会連合会HPより)は増加が継続しています。主な理由に定年が無いことが考えられます。

- ・2000年 65,144人 ・2010年 72,039人 ・2020年 79,404人 ・2024年 81,428人

事務所運営としては、近年は、個人事務所は減少の傾向にあり、税理士法人が増加傾向にあります。顧問料の減少と業務量増加、経費増による個人事務所運営の環境悪化が原因です。

顧客である中小企業の(零細含む)数は日本全体で減少し続けており、

- ・2014年 380万社 ・2016年 357万社 ・2021年 336万社 (中小企業庁HPより)

地元市区町村の企業数推移はでも同様です。

企業数推移 - RESAS - 地域経済分析システム(経済産業省)より

	2009	2012	2014	2016	2009→2016減少率
たつの市	2977	2812	2747	2560	14.0%
宍粟市	2418	2190	2088	1976	18.3%
太子町	1067	992	958	953	10.7%
佐用町	889	826	796	741	(社数) 16.6%

14.70% 全国平均

高齢化、顧客企業数の減少、制度改正に対応して業務量の増加等、環境は変わり続けます。

顧問先企業の経営環境も同様に厳しいことになり変わりなく、会計事務所として他との連携(他士業、金融機関、コンサル会社等)による顧問先支援の強化が益々重要になってくると感じています。

どのように舵を切るべきか中長期的な視野を広げつつ、目の前の課題に真摯に向き合っていきます。

# きょうのひとこと

工作中・仕事外 マイブーム、感動したこと、笑ったこと、  
学んだこと、うれしかったこと、悲しかったこと

## 山下重樹（所長） 2010年8月入社



我が家には二ホンカナヘビが12匹います。二ホンカナヘビはカナヘビ科カナヘビ属に分類されるトカゲの一種です。なんというか濃い肌色のトカゲです。

何度か息子2人と山や公園に狩りに行き、だんだん増えていきました。すべて名前がついていますが、私には誰が誰や分かりません。エサは近所のクモやバッタ等、取りすぎてすっかりいなくなってしまったので、人口飼料も使っていません。世話の手伝いをしていたら可愛く見えてくるもんですね。

最近amazonやyoutubeでフトアゴヒゲトカゲの検索履歴が残っています。クリスマスのサンタにお願いするのでしょうか、また増えそうです。

## 山下千秋 創業者（1990年2月）



いつの間にか歳を重ねました。体調の悪い時もあります。その時の私のギアチェンジは朝9時から始まる「朝礼」です。

毎朝の朝礼時の約束の唱和

1.志を高く持つ 2.利他の心 3.うそをつかない 4.報・連・相 5.約束を守る 6.日々改善 7.感謝の心 8.まずは自分の頭で考える 9.整理整頓 10.いつも笑顔で！元気に！大きな声で！自分から挨拶を！

私自身に「活を入れる」ために暗記して大きな声で唱和しています。

次に「月刊朝礼」を読み「心の勉強」をしてすっきりとした気分で一日が始まります。

「今日もよろしくお祈りします」心から充実した気持ちになれる今は仕事をもう少し続けたいと思っています。

## 山下和重（会長） 創業者（1990年2月）



4年前に蓄電池システムを導入設置し、2年後に容量不足のため増設した。蓄電池36kw x 3基（108kw）パワコン40kwの設備と従来からの屋上の太陽光発電で事務所の使用電力・社用車EV、PHVの充電に活用し余剰電力は関西電力売却している。機器の運用には保守・メンテが必要だ。蓄電システムは台湾で設計運用している同等品を購入した事で台湾にはない寒さ、夏の異常な暑さのため電池の交換回数は12回を超えた。対策として今年は酷暑による故障を減らすため、7月下旬から9月下旬まで太陽光発電の昼間の充電はせず、全て売電し蓄電による猛暑のダメージを減らした結果、故障がなかった。高い電力を買い安い電力を売るもどかしさ、温暖化対策を切に望む。

## 山下広恵 2019年11月入社



我が家にいるカナヘビ13匹とヤモリ1匹。

お世話係の息子二人は朝も学校の帰りも餌になる虫を捕まえてきます。足りない時はお小遣いを出し合い、コオロギやミルワームを買うこともあります。

リビングに何か跳ねているものが...と見てみると餌のバッタが逃げていたり、和室にミルワームが這っていたり、蝶が部屋を舞っていて、ここは野原だった？と錯覚したり...

Amazonから届いたコオロギを、息子が注意書きを読まずに開けて、100匹が袋から飛び出して元気いっぱい飛び跳ねていた事件以降、多少のことでは驚かなくなりました。先日ダイニングテーブルに小さなゴキブリがいて、学校の図書室にいたのを捕って帰ってきたんや！と息子に言われても、もうやめてよと言いつつ心の中では、ちょうどいいサイズのがいたんだね、と思ってしまうくらいの境地に達しています。

